

科目コーディネータ	丹野 高三 教授			問合せ先	医学部教務課 大学院担当			
科目コーディネータ所属	衛生学公衆衛生学講座			連絡先	内線5512、5511、5510/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp			
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	後期 8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	丹野 高三 (衛生学公衆衛生学講座 教授) 旭 浩一 (内科学講座 腎・高血圧内科学分野) 非常勤講師 (衛生学公衆衛生学講座) 外部講師招聘予定							
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	政策に関連した地域医療の動向と今後の方向性について学ぶことにより、自ら地域医療の課題を明らかにし、課題に取り組む方法論を習得する。						1.2.3.4.5.6.7.8	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 特定健診のしくみについて説明できる。				1			
	(2) データヘルス計画について説明できる。				5			
	(3) 全国がん登録とがん対策について説明できる。				2			
	(4) 腎臓病予防の観点から健診制度を説明できる。				4			
	(5) 地域における脳卒中発症危険因子のエビデンスについて概略を説明できる。				3			
	(6) 地域における心疾患発症危険因子のエビデンスについて概略を説明できる。				3			
	(7) 地域における要介護に至るリスクのエビデンスについて概略を説明できる。				7			
	(8) 東日本大震災の被災者支援を目的としたコホート研究の概略を説明できる。				6			
(9) 保健・医療・福祉の連携の在り方について概略を説明できる。				8				
資格取得等								
成績評価方法	<p>【2021年度以降の入学学生】 受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学学生】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>							
特記事項	<p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用し、講義動画をe-learningシステムで配信する。</p> <p>【2021年度以降の入学学生】 受講後2週間以内に「受講票」をWeb Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。</p> <p>【2020年度までの入学学生】 講義の出欠は履修手帳で管理する。講義を欠席した場合は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWeb Classにアップロードすること。</p>							
教科書・参考書								

●講義日程

月日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
10月1日 (土)	1	(1) 特定健診・特定保健指導 保健・医療・福祉の連携の在り方、特定健診の仕組みについて説明できる。	丹野 高三 教授 (衛生学公衆衛生学講座)	Zoom
10月1日 (土)	2	(2) 全国がん登録とがん対策 全国がん登録とがん対策について説明できる。	外部講師招聘予定	Zoom
10月22日 (土)	1	(3) 循環器疾患と危険因子 循環器疾患と危険因子について説明できる。	丹野 高三 教授 (衛生学公衆衛生学講座)	Zoom
10月22日 (土)	2	(4) 腎臓病からみた健診制度 腎臓病予防の観点から健診制度を説明できる。	旭 浩一 教授 (腎高血圧内科学分野)	Zoom
11月5日 (土)	1	(5) データヘルス計画 データヘルス計画について説明できる。	丹野 高三 教授 (衛生学公衆衛生学講座)	Zoom
11月5日 (土)	2	(6) 被災者健診 被災者健診について説明できる。	非常勤講師 (衛生学公衆衛生学講座)	Zoom
11月26日 (土)	1	(7) 要介護と危険因子 要介護と危険因子について説明できる。	丹野 高三 教授 (衛生学公衆衛生学講座)	Zoom
11月26日 (土)	2	(8) 救急医療 救急医療について説明できる。	外部講師招聘予定	Zoom